

ひろしま神楽 定期公演 2026 7月1日



本日はご来場いただき、まことにありがとうございます。

当公演では、全てのお客様に気持ちよく安心して神楽を鑑賞していただくため、下記のルールを設けています。ご理解、ご協力をよろしくお願い申し上げます。

- (1) 会場内での**飲食は禁止**とさせていただきます。
 - (2) 上演中の立ち歩きや大声での私語など**他のお客様のご迷惑になる行為**はご遠慮下さい。
 - (3) お子様は舞台の前に出られると、演出等で危険な場合がございます。保護者の方は、お子様から目を離さず、着席での鑑賞をお願いします。
 - (4) 客席内すべてのお席で写真・動画撮影が撮影可能です。下記および右記のルールを守って撮影してください。(マスコミ関係など主催者の許可を得ている場合を除く)
- ※ビデオカメラなどを使用しての動画撮影やフラッシュ・三脚などを使用しての撮影は禁止どうぞ、最後までごゆっくりお楽しみ下さい。

梶矢神楽団【安芸高田市】



梶矢神楽団Instagram

当神楽団は安芸高田市高宮町川根にあり、大元神楽の流れを汲んでいます。神社の古文書には江戸時代中期、現在の島根県邑智郡邑南町阿須那の齊藤宮司並びに上田の三上宮司より神職神楽を伝授されたと記されています。

以来、戦時中も中断することなく、古典演目を伝承していることが認められ、昭和29年に広島県無形民俗文化財の指定を受けました。(指定演目「鍾馗」)

現在、新しい演目が人気を集めておりますが、団員一丸となって古典演目の伝承に精進してまいります。

八岐大蛇 やまたのおろち

出雲の国に暮らす足名椎(あしなづち)・手名椎(てなづち)老夫婦には八人の娘がいました。しかし年毎に一人またひとりと大蛇に飲み取られ、七人まで娘を失いました。そしていよいよ八人目の姫が飲み取られる季節となり、老夫婦と八人目の姫・櫛稲田姫(くしいなだひめ)は嘆き悲しんでいました。そこへ高天原(たかまがはら)から舞い降りた素戔鳴尊(すさのおのみこと)が通りかかり、その理由を聞きます。

尊は、大蛇退治を決めると、老夫婦に八塩折(やしおり)の毒酒を造らせ、酒を入れた樽の後ろに姫を立たせます。やがて、どこからともなく大蛇が現れ、毒酒に映った姫の影を飲み干していき、酔いの回るほどに暴れ狂い、しだいに酔い伏してしまいます。これを待ち構えていた尊は、壮絶な戦いの末、大蛇を退治します。

大蛇の腹を切り裂くと、一本の刀が出てきます。これを天叢雲剣(あめのむらくものつるぎ)と名づけ、天照大神(あまてらすおおみかみ)に捧げます。そしてめでたく櫛稲田姫を妻とし、平和で豊かな出雲の里で暮らしていくという物語です。

撮影について

以下の禁止事項を遵守し、周囲の方へご迷惑とならないようご配慮の上撮影をお願いいたします。

スマートフォン・携帯電話を使用しての動画撮影が可能です。ただし、インターネット・SNS 等で合計2分以上公開することは禁止いたします。

禁止事項

- ビデオカメラ・フラッシュ・三脚・一脚を使用しての撮影
- 撮影された画像・動画の**営利目的での使用**および**2分以上の公開**

#hiroshimakaguraを付けてSNSに写真を投稿しよう！
ひろしま神楽の魅力を発信してください！！

大	太	鼓	一	上	田	正	幸
小	太	鼓	一	新	山	寛	大
手	打	鉦	一	道	庭	晃	
	笛		一	古	太	刀	秋貴子
素	戔	鳴	尊	一	行	田	雅春
足	名	椎	一	上	田	樹	
手	名	椎	一	安	見	真人	
櫛	稲	田	姫	一	大	久保	俊佑
大		蛇	一	柴	野	竜二	
大		蛇	一	柴	野	利成	
大		蛇	一	神	田	光太郎	
大		蛇	一	安	見	真人	
大		蛇	一	上	田	樹	
大		蛇	一	吉	村	亮	

※出演者は予告無く変更になる場合がございます。

助成：一般財団法人地域創造



その半券
捨てないで!!!
**お得な
特典!**

「ひろしま神楽定期公演」の半券を
神楽門前湯治村に持っていくと
神楽門前湯治村で観覧される
定期公演(大会を除く)の半券を
「ひろしま神楽定期公演」に
持っていくと

入浴施設・岩戸屋の
入浴料¥100割引
当日券入場料
¥100割引
※2025年12月31日まで有効

アンケートにご協力ください!

ひろしま神楽定期公演では皆様のご意見やご感想を今後の参考にさせていただくためにアンケートを実施しております。QRコードをスキャンし、アンケートへご回答ください。ご協力をお願いいたします。



こちらから
ご回答ください